

JIS Z 3410/WES 8103 溶接管理技術者の皆様へ

IIW 国際溶接管理技術者資格取得コースのご案内

IIW 資格日本認証機構(J-ANB)

○IIW 国際溶接技術者とは？

溶接技術は圧力容器・化学機械、造船、橋梁など、あらゆる製造業で不可欠の基盤技術であり、構造物の品質は溶接という「ものづくり技術」に密接に係わっています。このため、ISO 規格に従った品質マネジメントシステムでは、溶接に従事する要員の適格性を事前に確認することが求められています。この適格性を確認する一つの手段が溶接要員の「資格」です。

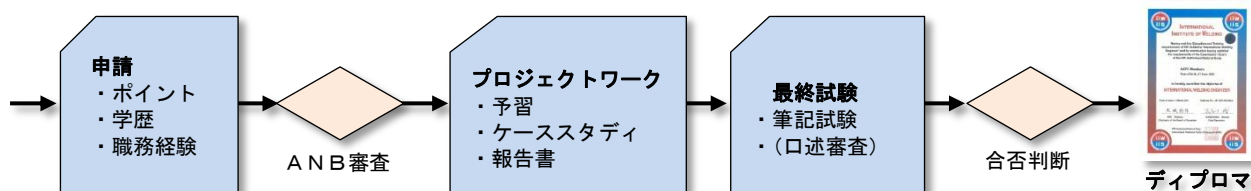
IIW(国際溶接学会)では、溶接に係る要員の資格認証制度を実施しており、これまでに世界中で約9万人が資格を取得しています。そのうち、製造工程や品質管理に責任を持つ溶接管理技術者が修得すべき知識の教育を履修し、試験を経てディプロマ(終身資格)が与えられる **IIW 国際溶接管理技術者**の資格制度が1998年から行われています。

IIW 国際溶接管理技術者資格には主なものに右の3種類があり、世界中に普及しつつあります。溶接の品質管理プロセスを規定したISO 3834の適用が世界的に広がっていること、特に欧州では溶接構造物の重要度に応じて **IIW 国際接管理技術者**を配置することが求められ、CEマークを表示する製品の製造にも **IIW 国際溶接管理技術者資格**が必要になるなど、国際的な活動をしている企業の技術者にとって重要、かつ価値のある資格となっています。これまでに日本では約2,470名の技術者がそれぞれの資格を取得しています。

IIW 国際溶接管理技術者資格
IWE (International Welding Engineer)
IWT (International Welding Technologist)
IWS (International Welding Specialist)

○特認コースとは？

IIW 国際溶接管理技術者資格を取得するためには、資格の種類に応じて242～441時間以上の講義と実習を履修しなければなりません(正規コースの場合)。しかし、J-ANBが実施する「**特認コース**」は、それぞれの資格に応じた知識をあらかじめ持っていることを証明すれば(IIW履修ポイント点数)、プロジェクトワーク(予習、ケーススタディ及びレポート提出)を行い、最終試験に合格することによって **IIW 国際溶接管理技術者資格**が取得できるコースです。日本国内にて、多くの時間を割くことなく、日常業務に携わりながら、かつ安い費用で取得できるコースとなっています。



受験申請時点において WES 8103「溶接管理技術者」の資格(特別級、1級、2級)を保有されている方は、溶接技術に関する専門知識を既に修得しているとみなされ、特認コースに必要な履修ポイントが与えられます。従って、学歴と業務経験の条件を満足すればプロジェクトワークに進み、最終試験を受けることが出来ますので、WES 溶接管理技術者資格をお持ちの方は、是非、**IIW 国際溶接管理技術者資格**の取得をご検討下さい。

【2014年度特認コース受験申請締切日：2014年8月29日】

※受験可能な IIW 資格の種類、受験条件などの詳細は、(一社)日本溶接協会ホームページ(<http://www.jwes.or.jp>)、または「溶接技術」誌(産報出版)2014年5月号または6月号をご覧ください。また、お問合せ・受験申請書類の請求は下記 J-ANB 事務局までご連絡下さい。

〒101-0025
 東京都千代田区神田佐久間町4-20 (一社)日本溶接協会内
 IIW 資格日本認証機構(J-ANB)事務局
 担当: 佐藤 / 細井 TEL:03-5823-6325 FAX:03-5823-5211
 E-mail: masaharu_sato@jwes.or.jp または hosoi@jwes.or.jp